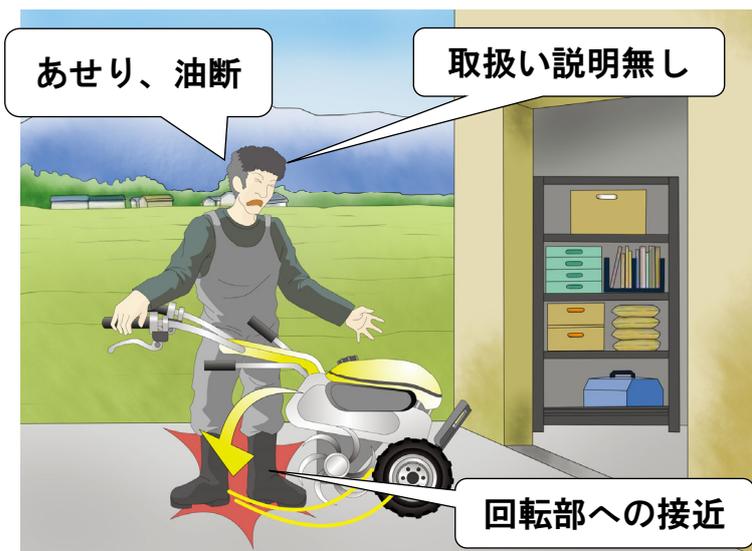


# 歩行用トラクターの事故事例

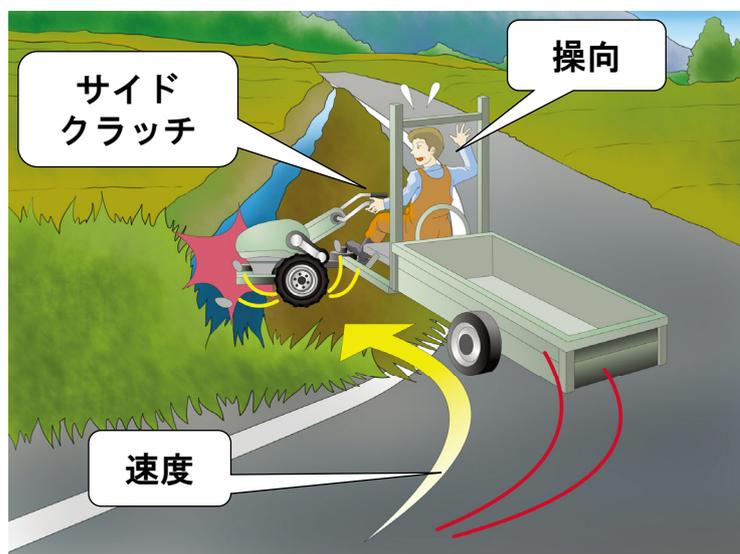


## 事故概要

友人から借りた歩行用トラクターを車庫から出してコンクリート面上で操作方法を調べていたところ、クラッチが入っていることに気付かず変速レバーを後進に入れた途端、ロータリーが回転、長靴が巻き込まれ、膝を複雑骨折。100日間入院。

## 原因

- ①妻が入院中で色々忙しく気がせいっていた。
- ②小さな機械で油断があった。
- ③友人から機械を借りる時、説明を受けていなかった。
- ④操作レバーが短いため、ロータリーに近い場所で操作した。



## 事故概要

歩行用トラクターでトレーラー牽引中、町道から農道に左折した時に、急旋回してハンドルを戻すことができず、左側の側溝に転落。肩と大腿を打撲し3ヶ月入院。

## 原因

- ①速度が出ていたため、ハンドルで操向すべきであったが、サイドクラッチを使った。
- ②サイドクラッチが戻らなかった。



## 事故概要

ハクサイ畑の畦立てを後進で作業中、耕盤が硬い所で機体が後方にダッシングし、ハンドルが急にもちあがりながら機体が自分の方に向かってきた。畦の間で片足状態だったので転倒。ロータリーと鉄車輪の間に右足が挟まり、ロータリーの爪が肉を削り骨まで達した。39日間の入院。

## 原因

- ①耕盤が硬いところではハンドルが浮き上がり、ヒヤリとする経験は何回もあったが、そのたびにハンドルを押さえつけるだけで、エンジン回転を下げるなどの安全運転を怠った。
- ②作業終了時で気がゆるんだ。